

知らなかった ぼくらの戦争

- アメリカの詩人がニッポンのこれからを語ります -

日時：2023年11月11日(土) 開会14時～16時

会場：沼津市立図書館4階 視聴覚ホール

講師：アーサー・ビナードさん

チケット代：大人 1,000円(チケット優先) 高校生無料



プロフィール

詩人。1967年、アメリカのミシガン州に生まれ、五大湖に囲まれて育つ。たびたび釣りに出かけ、川と湖の生き物に魅せられる。高校生のころから詩を書き出し、ニューヨーク州コルゲート大学で英文学を学ぶ。卒業と同時に来日、日本語でも詩作を開始。

後援 沼津市

後援 沼津市教育委員会

2001年に第一詩集『釣り上げては』(思潮社)が中原中也賞に選ばれる。『日本語ぼこりぼこり』(小学館)で講談社エッセイ賞、『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』(集英社)で日本絵本賞、『さがしています』(童心社)で講談社出版文化賞絵本賞、『左右の安全』(集英社)で山本健吉賞、『ドームがたり』(玉川大学出版部)で日本絵本賞を受賞。

翻訳絵本にエリック・カールの『ありえない!』『ホットケーキできあがり』(ともに偕成社)、ドン・フリーマンの『ダンデライオン』(福音館書店)、ボブ・ディランの『はじまりの日』(岩崎書店)、モーリス・センダックの『父さんがかえる日まで』(偕成社)などがある。

2012年に広島文化賞、2017年に早稲田大学坪内逍遙大賞の奨励賞、2020年に谷本清平和賞を受賞。2022年には創作紙芝居『ちっちゃいこえ』が五山賞特別賞に選ばれる。

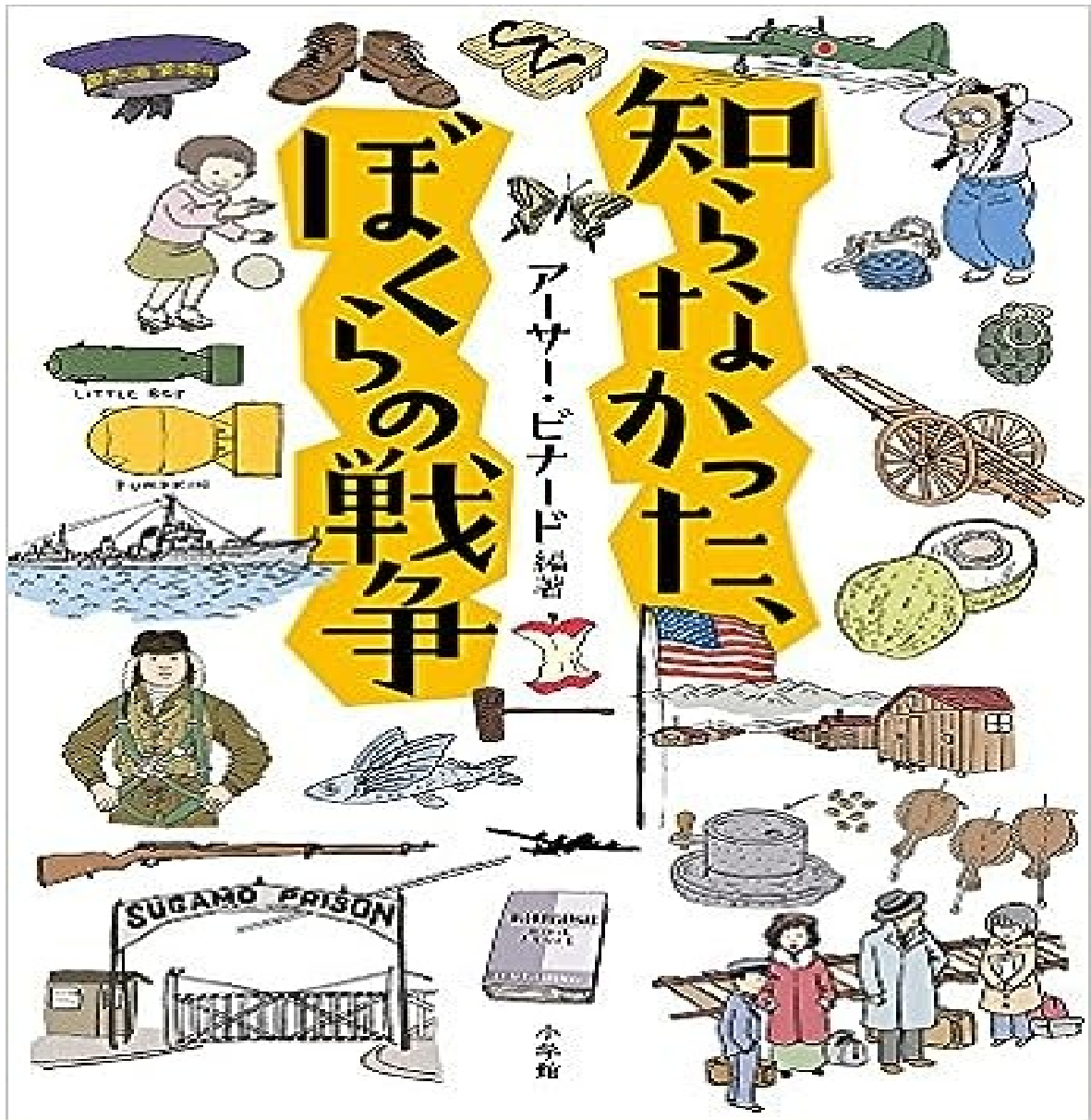
ラジオの仕事も多く、2021年に日本民間放送連盟賞グランプリを受賞。文化放送では「アーサー・ビナード ラジオぼこりぼこり」が毎週放送される。

主催 ぬまづ憲法9条の会

連絡先 神田健夫

〒410-0022 沼津市大岡 1976-8

☎055-921-7755



参考資料 「知らなかった ぼくらの戦争」アーサー・ビナード編著 小学館

アメリカ出身の詩人アーサー・ビナード氏(1967年生まれ)が、日本人の太平洋戦争体験者たちを訪ね歩き、戦争の実態と、個人が争いから生き延びる知恵を探ります。

登場する語り手は、真珠湾攻撃に参加したゼロ戦の元パイロット、「毒ガス島」で働いた元女子学徒、戦後GHQで働いた元事務員など、実にさまざま。

日本人以上に日本社会に詳しいビナード氏が、自身の受けたアメリカの教育とも照らし合わせながら戦争に対する考察を深めます。